

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月16日

栃木県知事 殿

提出者

住 所 栃木県那須塩原市塩原1100

氏 名 株式会社 谷黒組

代表取締役社長 谷黒公重

電話番号 0287-32-2220

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 谷黒組
事業場の所在地	栃木県那須塩原市塩原1100
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	061：一般土木建築工事業
事業の規模	元請完成工事高 13.0億円(令和4年度)
従業員数	56人
産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
別紙2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排出量	別紙3のとおり
	（これまでに実施した取組） 別紙4のとおり	
計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	排出量	別紙3のとおり
	（今後実施する予定の取組） 別紙4のとおり	
産業廃棄物の分別に関する事項		
現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙4のとおり	
計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙4のとおり	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

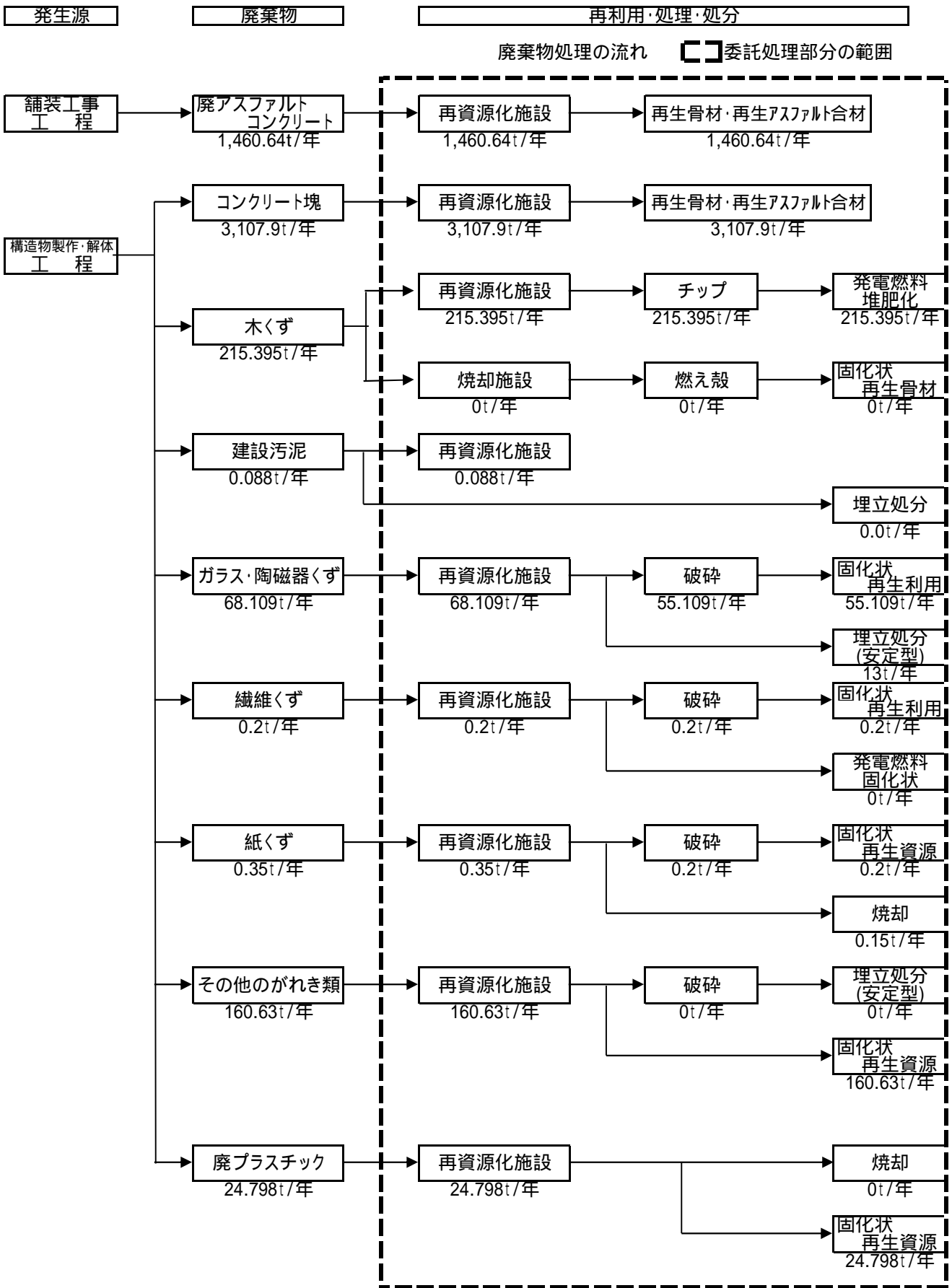
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
現状	【前年度(                      年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

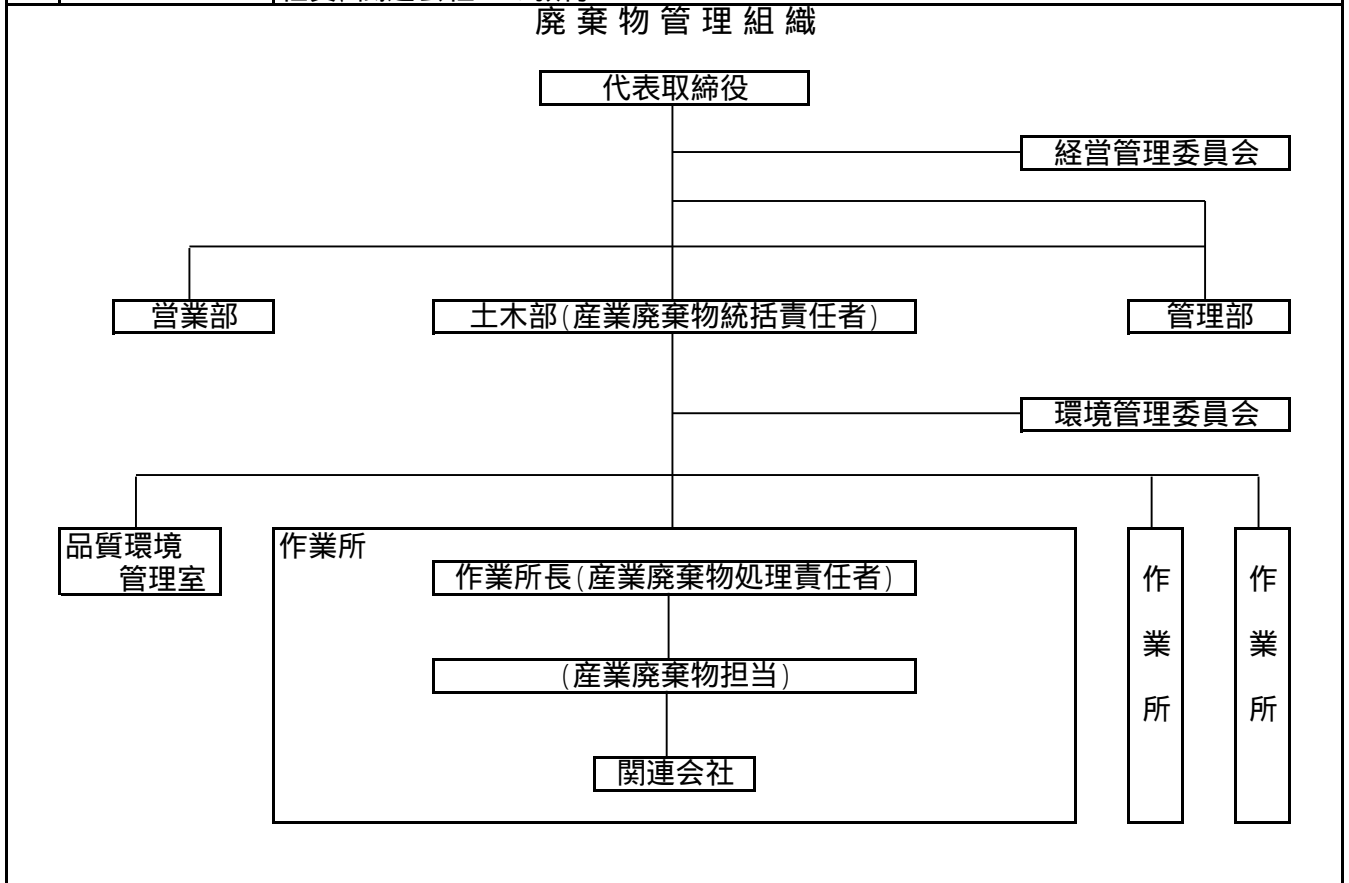


廃棄物処理フロー図(現状)

< 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 >

管理体制図

統括責任者	所属: 土木部	職名: 土木部長
廃棄物担当者	組織名: 土木部 組織人数: 作業所長12名	職名: 廃棄物担当
役割	環境管理委員会	産業廃棄物管理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行なう上で必要な事項を検討する。 委員長: 土木部長 委員: 作業所長 事務局: 管理部
	統括責任者	廃棄物処理方針の策定 環境目標・環境マニュアル・各規定の周知 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 処理業者、再生利用業者・状況の調査
	廃棄物管理担当	廃棄物処理計画の作成(施工計画書) 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討(環境活動報告書) 委託契約の締結 産業廃棄物管理票の交付・管理 監督官庁への各種報告 社員、関連会社への教育





## R4年度実績及びR5年度目標値

排出・処理 の区分	廃アスファルトコンクリート塊		廃コンクリート塊		木くず	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	1,460.64	1,168.51	3,107.90	2,486.32	215.40	172.32
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	1,460.64	1,168.51	3,107.90	2,486.32	215.40	172.32
優良認定処理業者への 処理委託量	0	116.85	0	248.63	4.815	17.23
再生処理業者への 処理委託量	1,460.64	1,051.66	3,107.90	2,237.69	210.58	155.08
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

排出・処理 の区分	廃プラスチック		汚泥		繊維くず	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	24.80	19.84	0.088	0.07	0.2	0.16
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	24.80	19.84	0.088	0.07	0.200	0.16
優良認定処理業者への 処理委託量	7.123	1.98	0.066	0.01	0.000	0.02
再生処理業者への 処理委託量	17.68	17.85	0.022	0.06	0.20	0.14
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

## R4年度実績及びR5年度目標値

排出・処理 の区分	廃棄物の種類及び 実績、目標の別		金属くず		ガラス・陶磁器くず	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	160.63	128.50	0.00	2.00	68.11	54.49
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	160.63	128.50	0.00	2.00	68.11	54.49
優良認定処理業者への 処理委託量	0	12.85	0	0.20	0.00	5.45
再生処理業者への 処理委託量	160.63	115.65	0.00	1.80	68.11	49.04
認定熱回収業者への 処理委託量	-	0	-	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

排出・処理 の区分	廃棄物の種類及び 実績、目標の別		紙くず		混合廃棄物	
	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)	実績(t) (R4年度)	目標(t) (R5年度)
排出量	0.00	0.00	0.35	0.28	2.47	1.98
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	0.00	0.00	0.35	0.28	2.47	1.98
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0.00	0.06	0.03	2.47	0.20
再生処理業者への 処理委託量	0.00	0.00	0.29	0.25	0.00	1.78
認定熱回収業者への 処理委託量	-	0	-	0	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙4

< 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃アスファルト 廃コンクリート	・路盤材・再生As合材の再生材利用促進 ・付着した骨材を除去し減量化	同左
木くず (型枠材)	・施工条件で可能な場合、転用回数の増加	・施工条件で可能な場合、鋼製型枠及び残存型枠の利用を推進する。
木くず (木根・枝)	・付着した土砂を除去後、抜気乾燥させ減量化	同左
金属くず	・分別を行い有価物処理	同左
紙くず	・分別を行い、一般廃棄物の混入を防止し、排出量を削減する。	同左
廃プラスチック	・分別を行い、一般廃棄物の混入を防止し、排出量を削減する。	同左

< 産業廃棄物の分別に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃アスファルト 廃コンクリート	-	-
木くず (型枠材)	-	-
木くず (木根・枝)	-	-
金属くず	-	-
紙くず	-	-
廃プラスチック	-	-

< 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃アスファルト 廃コンクリート	-	-
木くず (型枠材)	-	-
木くず (木根・枝)	-	-
金属くず	-	-
紙くず	-	-
廃プラスチック	-	-

